

平成 29 年度 団体別懇談会(自治会)実施結果(案)

- I. 日時 平成27年6月11日(日) 10:00~12:00
II. 場所 竹の台地域福祉センター2F会議室
III. 参加者 43名

		団体名	参加人数(人)
1	1丁目	1丁目自治会	2
2	2丁目	2丁目自治会	2
		シティハイツ自治会	1
3	3丁目	3丁目自治会	9
4	4丁目	4丁目自治会	7
5	5丁目	5丁目自治会	11
		竹の台地域委員会	7
		合計	39

まちづくりアドバイザー：スタジオ・カタリスト 松原 永季氏

見学：NPO 法人しゃらく 小嶋氏 生活協同組合コープこうべ 第5地区活動本部 中塚課長
ヴァイタル・インフォメーション(株) 高橋氏



IV. 内容

1. 自治会加入に関すること

- ・竹の台全体の自治会加入率は92%。自治会単位で見ると、83.2%~100%。
- ・脱会の理由としては、高齢化により役員ができない。
- ・転入者では、若い人で入会しない人もいる。理由は「メリットがない」。
- ・高齢や障害・介護を理由に役員免除の規定が規約にある自治会もある。
- ・新住人の情報が入ると、「入会案内」「自治会費徴収」に回る。

2. 空き家に関すること

- ・空き家の数は把握されている。36件。3%。今のところトラブルはない。
- ・空き家の連絡先は全く把握していない自治会と、班ごとに把握している自治会がある。
- ・把握しているところでは、雑草の処理など必要ときに連絡をとり対応してもらっている。
- ・空き家の自治会費徴収は、自治会の中でも異なる。

3. 建築協定の締結状況

- ・ 5自治会中3自治会が締結。2自治会は、以前は締結していたが、更新しなかった。
- ・ 更新しなかった理由は、協定に賛同しない世帯が多かったため。
- ・ 更新しなかったところでは、土地分割の話も出ている。
- ・ 更新の際に専門性のある人がいると、建設的な議論ができるが・・・。
- ・ 神戸市の委員研修会に参加した。鈴蘭台地域では、専門家のボランティアが協定更新等に関わっているそう。→神戸市に建築協定アドバイザーを派遣する制度あり。

4. 自治会単位で実施している交流事業

- ・ 竹の台ふれあいまつりに自治会のテントを出し、金券を渡したり、フリマやお茶を提供して交流の場になっている自治会が二つ。(世帯の80%が参加)
- ・ 年1回ホテルで食事会をしている自治会が一つ。
自治会費から補助を出す。100名ほどが参加。以前は参加しない人から不公平との意見も出たが、最近はない。
- ・ 特に何もしていない自治会が二つ。

5. 自治会の組織運営

- ・ 1年交代の役員の問題点として、①引継がきちんとできない②課題が解決されないがあった。
- ・ 地域委員会から、具体的な改善案として、引継や課題解決がきちんと行えている管理組合の組織運営を例に、「2年任期・1年ごとに半数交代」を提案した。
- ・ 結論としては、高齢化が進む中、負担増となる2年任期は難しいとの事。
- ・ 一方、昨年度の当該懇談会で議論した「効果的な引継」について。「マニュアルを作った」「引継方法を変えた」など、具体的に改善に取り組んだ自治会が2つあり、当面は引継方法の工夫と、運営する役員の中での情報共有に取り組むことで補完していくしかないだろう。

6. 高齢化に伴う課題

- ・ 当番で回ってくる役員の仕事ができない高齢者への対応をどうしているのか？
班単位で判断し、免除しているところもあるが、例えば班13軒中、免除8軒という事になると残っている人の負担が大きくなる。班の単位の見直しも考えているが、規約を変える必要がある。住民構成が変わると、また変えないといけないので、苦慮している。(2丁目)
- ・ ゴミステーションの掃除ができない。会費徴収の際に確認したところ、班ごとに近隣の人がフォローしている実態がわかった。(4丁目)
- ・ 近隣4~5軒単位でコミュニケーション、お互いに見守りを行っている。(4丁目)

7. その他、竹の台地域委員会に対して

- ・ 「竹の台総合新聞」自治会単位でとる必要があるのか、という意見が出ている。新聞のコンセプトは？
→住民に身近な情報を伝える。全世帯配布以外の対応は現在の配布システムでは難しい
- ・ 一斉清掃を年2回にしてはどうか。(夏と冬)

		1丁目自治会	2丁目自治会	3丁目自治会
記入者		会長	副会長	会長
構成世帯数		244	184	181
1	① 自治会未加入の世帯数	20	31	0
	② 自治会加入率(%)	91.8	83.2	100.0
	③ 未入会の理由		高齢で役員ができない	
	④ 未入会者への入会案内	定期的に声かけ		
	⑤ 転入者への入会案内	転入情報を得たら、自治会長が説明に		
2	① 空き家の数	1	6	10
	② 空家の所有者の把握	把握している		把握していない
	③ 空き家の自治会費の徴収	していない	1軒のみ徴収(いずれ戻ってくるかも)	していない
	④ 空き家に対するトラブル	ない	ない	ない
3	① 建築協定を結んでいるか	かつて結んでいたが更新しなかった(10年前)分筆の話あり	結んでいる 手続等に詳しい人が委員だった	結んでいる 自治会内に「建築協定委員会」 建築協定委員は「監査」兼任
	② 建築協定を今後も更新するか		する	来年度、最初の更新 今年度から意向アンケート実施予定 現在加入率80% これ以上下がると協定の意味が・
4	住民交流事業をしているか	行っている 竹の台ふれあいまつりに参加 ・テントを借りて、フリマ・くじ引き・金券配布 ・親睦会を実施したい	親睦食事会(年1回) 西神オリエンタルホテルで 食事会(100名ほど参加・二部制) 参加費1,000円 それ以外は自治会費から	していない かつては子ども会で「いもほり」などあったが・
5	自治会役員2年任期半数交代についての意見		高齢化も進んでいるので2年任期は負担が大きいのでは？	・活発な活動はしていないので1年任期で十分 ・昨年の役員がマニュアル・引き継ぎ書作成した。それを見ればあまり困ることはない
6	一人暮らしの高齢者対策		取り組みとしては特にしていないが、本人の申し出により役員免除や役員の負担が軽くなる様配慮している	何もしていない
7	自治会の課題		・高齢化等に伴い脱退や役員可能な会員が減少してきている ・ブロック再編成検討中だが、規約改正などの必要があり難しい	・高齢化に伴い、役員ができない人が出てきた場合の対応
8	竹の台地域委員会と協議して解決できそうなこと		・外の自治体の現状、実態を把握し改善策を検討したい ・「竹の台総合新聞」自治会単位でとる必要があるのか、と言う意見が出ている コンセプトは？ →住民に身近な情報を伝える 全世帯配布以外の対応は現在の配布システムでは難しい	

		4丁目自治会	5丁目自治会	合計
	記入者	会長	会長	
	構成世帯数	247	314	561
1	① 自治会未加入の世帯数	1	37	38
	② 自治会加入率(%)	99.6	88.2	93.2
	③ 未入会の理由	高齢独居のため	若い人が未加入(メリットがない)	
	④ 未入会者への入会案内			
	⑤ 転入者への入会案内	自治会費徴収に来られた		
2	① 空き家の数	9	10	19
	② 空き家の所有者の把握		班で把握 定期的に連絡(草刈の必要な時など)	
	③ 空き家の自治会費の徴収	一部徴収	一部徴収	
	④ 空き家に対するトラブル	ない	ない	
3	① 建築協定を結んでいるか	結んでいる。 2年前に3回目更新。 自治会加入率よりは低い 自治会内に「建築協定委員会」 自治会長が建築協定委員会委員長	2回目までは更新。 3回目は要請が少なく更新せず。 (分割できないことが販売の障害に?)	
	② 建築協定を今後も更新するか	未定		
4	住民交流事業をしているか	していない 子ども会もなくなり・・・	竹の台ふれあいまつりに参加 ・テントを借りて、会場に来た人には500円分の金券と1000円分のお菓子を渡す。(来なかった人には後日お菓子を持って行く) ・来場世帯 80%	
5	自治会役員2年任期半数交代についての意見	会費から給与的なものを払って有志を募ってやりたい人がやってくれるのが理想だが、やりたい人がみつからない	今のままでよい 引継に関しては、マニュアルあり。 役毎に引継をおこなっている。	
6	一人暮らしの高齢者対策	会費徴収時に、一人暮らしのお年寄りでごみ捨て場の清掃等が困難そうな方の対応をどうしているかヒアリング。班の中で、近隣で助け合っている実態がわかった。	班ごとに自主的なお声かけ	
7	自治会の課題	会費の引き下げ	・自治会の仕事を簡素化してほしい ・若年世代の入会が減少傾向 ・会費は支払うが当番はしたくない	
8	竹の台地域委員会と協議して解決できそうなこと	一斉清掃を年2回にしてはどうか。(夏と冬)		